



三和油化工業株式会社

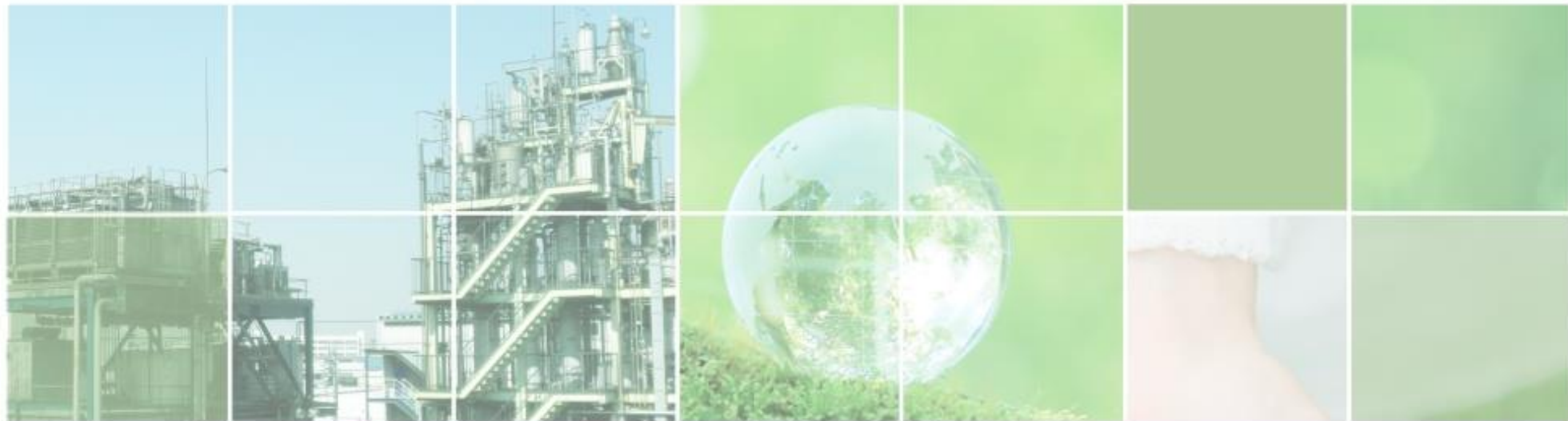
東証スタンダード市場／名証メイン市場

証券コード：4125

2023年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2023年2月13日





2023年3月期 第3四半期 決算概要



2023年3月期 第3四半期累計

売上高

13,352百万円

【前年同期比】+18.7%

営業利益

1,436百万円

【前年同期比】+20.3%

営業利益率

10.8%

【前年同期比】+0.1PT

事業環境

- 資源価格の高騰と急速な円安の影響により、原材料・エネルギーコストは上昇
- 半導体不足、スマホ・PC等の販売不振により、自動車や半導体、電子材料の一部では生産調整が継続

内部対応

- 産業廃棄物の有効利用や電子材料向け製品の供給に注力
- 東西工場拠点における新設リサイクル施設を稼働させるための営業活動・顧客開拓

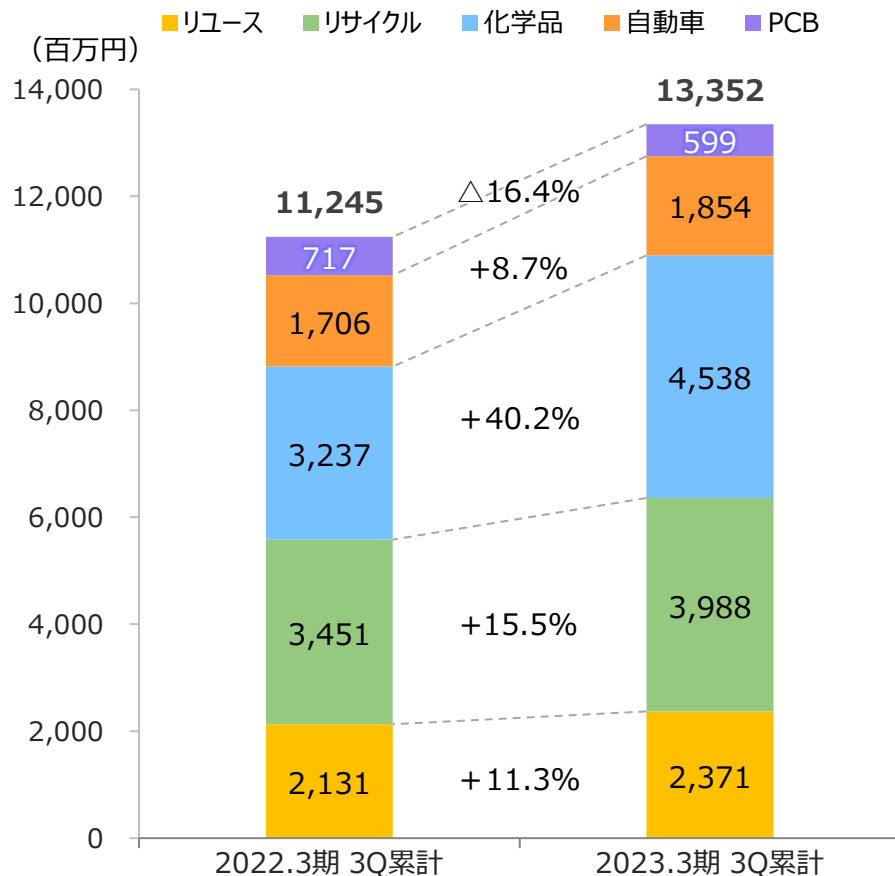
⇒ 第3四半期累計の業績は堅調に推移しており、進捗率は良好

- 第3四半期累計の売上高・各段階利益は、いずれも過去最高の業績
- 原材料価格の高騰と化学品事業の伸長によるセールスマックス変化により、粗利率は低下

(単位：百万円)	2022年3月期 3Q累計		2023年3月期 3Q累計		増減	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減比
売上高	11,245	100.0%	13,352	100.0%	+2,107	+18.7%
売上総利益	3,368	30.0%	3,736	28.0%	+367	+10.9%
営業利益	1,194	10.6%	1,436	10.8%	+242	+20.3%
経常利益	1,187	10.6%	1,471	11.0%	+283	+23.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	733	6.5%	964	7.2%	+231	+31.5%

■ PCB事業を除き、4事業で売上高が前年同期比増

事業種別売上高



事業種別概況



リユース事業

- 数量は前年同期比減少（前期は大型スポット案件あり）
- 資源価格の上昇に伴い、再生製品の販売価格は上昇



リサイクル事業

- 東西工場拠点を中心に取扱数量が増加
- 廃棄物の引取価格、再生燃料の販売価格ともに上昇



化学品事業

- 半導体・電池向け製品の需要は堅調
- 市況価格の上昇は一段落、一部の有機溶剤価格が下落



自動車事業

※ SC=サプライチェーン

- 半導体不足やSC混乱で顧客工場の稼働は不安定
- 数量は伸び悩むも売価上昇、顧客工場での新たなニーズへ対応

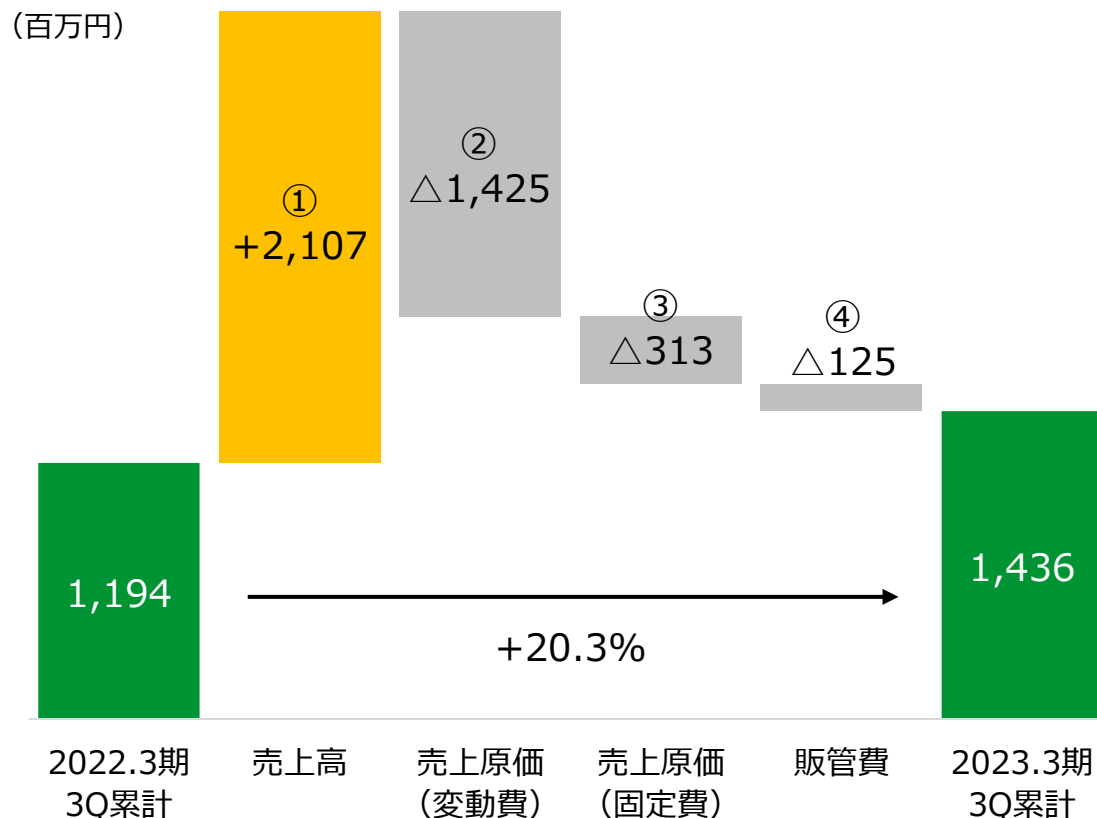


PCB事業

- 減収だが、想定内（2027年に向けて徐々に縮小見通し）
- 他の事業での取引展開に注力

営業利益増減要因分析（前年同期比）

- 半導体・電池向けの製品需要が大きく増加、販売価格は全体的に上昇
- リユース・リサイクル事業（固定費型）よりも化学品事業（変動費型）が伸びたことで変動費率上昇



①売上高

- ・ 数量の伸びは化学品とリサイクルが主体
- ・ 販売価格は全体的に上昇
(化学品の主要品目で2Q途中から価格下落)

②売上原価（変動費）

- ・ 原材料の数量増加、単価上昇（一部低下もあり）
- ・ 外部処理先への産廃処理費増加
- ・ アライアンス先への外注加工費増加
- ・ 運送コスト増加、廃棄物原料の買取単価上昇

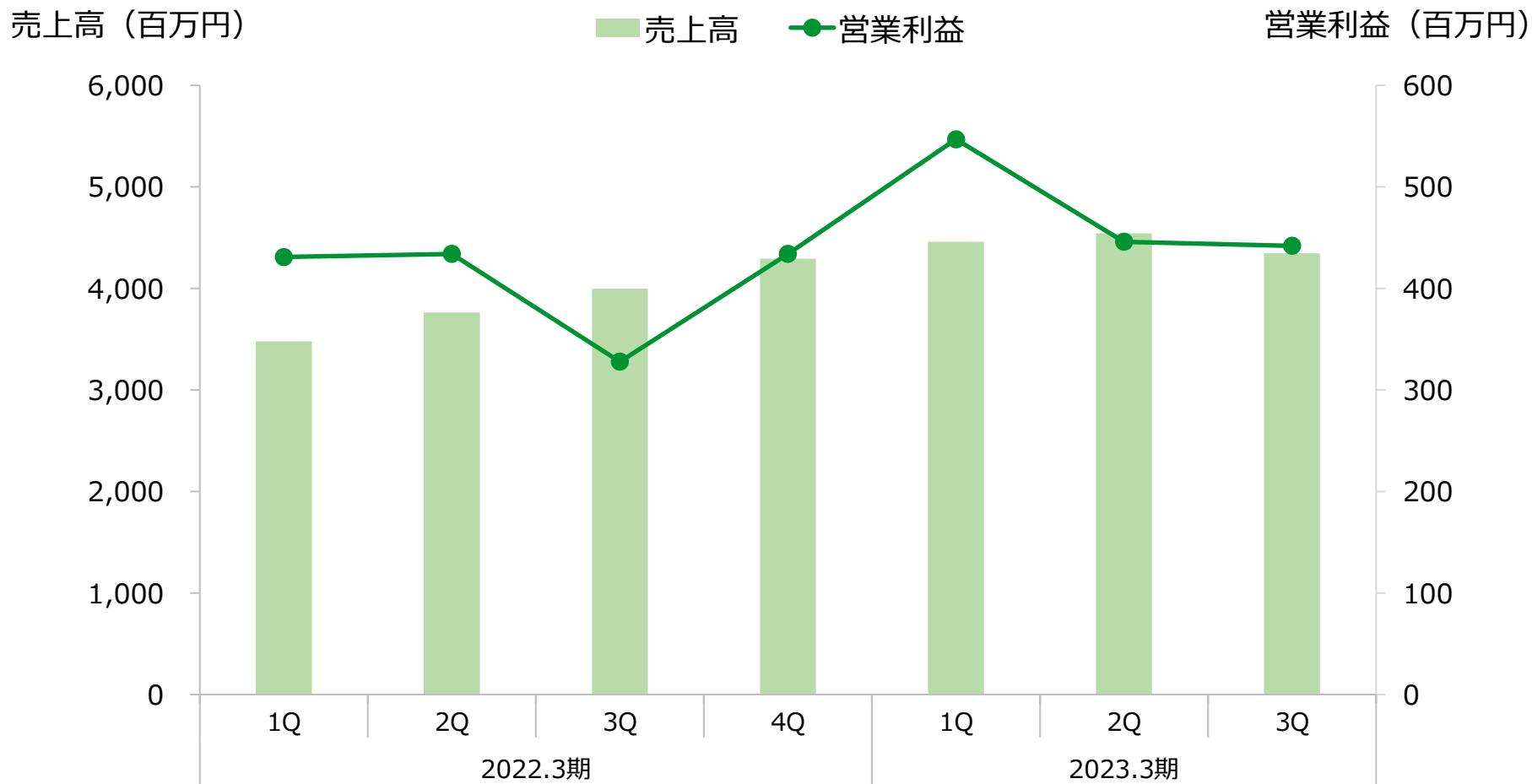
③売上原価（固定費）

- ・ 投資設備の稼働開始による減価償却費増加
- ・ 人員増、ベースアップによる人件費増加
- ・ ユーティリティー費（電気・ガス）増加
- ・ 保険料、工場設備の修繕費増加

④販管費

- ・ 人員増、ベースアップによる人件費増加
- ・ 租税公課（外形標準課税）増加
- ・ 株主総会関連費用、保険料増加

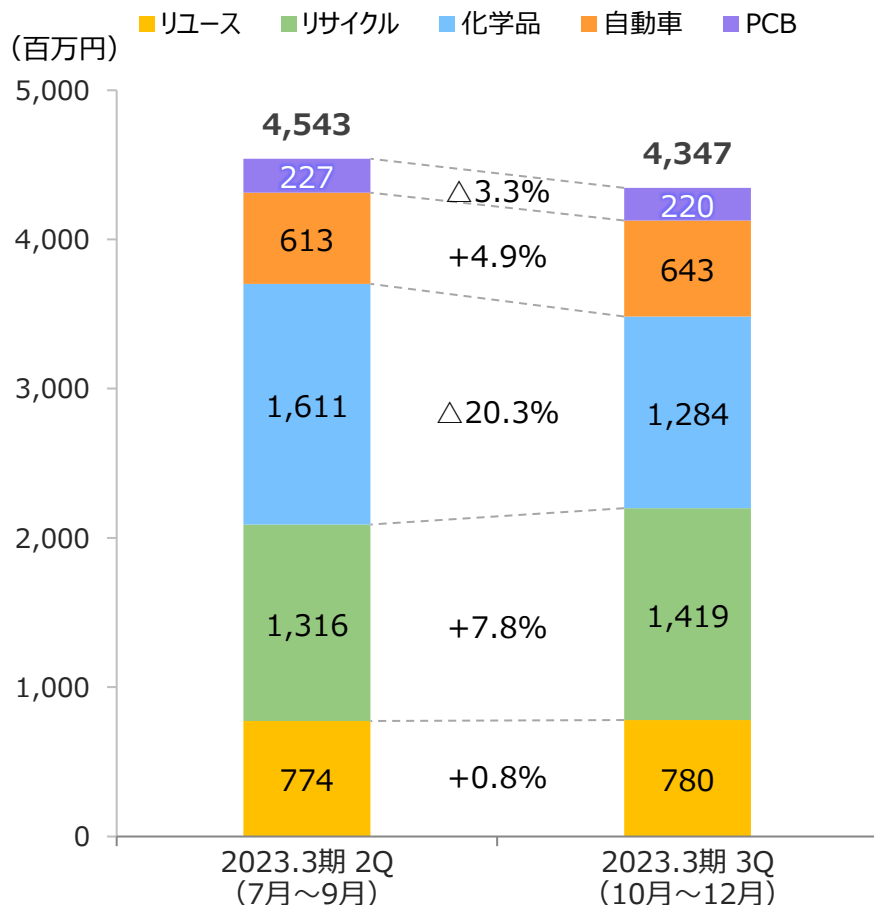
- 四半期売上高は右肩上がりに増加 ⇒ 化学品事業での主要品目の価格低下等により僅かに減少
- 原材料・エネルギーコストの上昇や国内経済の減速が懸念される中、利益は横ばいを堅持



※2022.3期 1Q~2Qの数値については、監査法人によるレビュー対象外であります

- 化学品事業で主要品目の価格下落が継続、生産性向上を目的とした工事で設備が一時停止

事業種別売上高



事業種別概況



リユース事業

※ FPD=ディスプレイ

- ・ 数量・単価ともに2Q比で概ね横ばい
- ・ 自動車、FPD、一部の半導体で弱含みも他業種でカバー



リサイクル事業

- ・ 取扱数量の増加と廃棄物引取価格の上昇で売上増
- ・ 2Qに発生した品質管理課題は概ね解消



化学品事業

- ・ 主要品目の市況価格は下落傾向が継続、売価にも反映
- ・ 半導体・電池関連顧客の生産調整により、溶剤販売が減



自動車事業

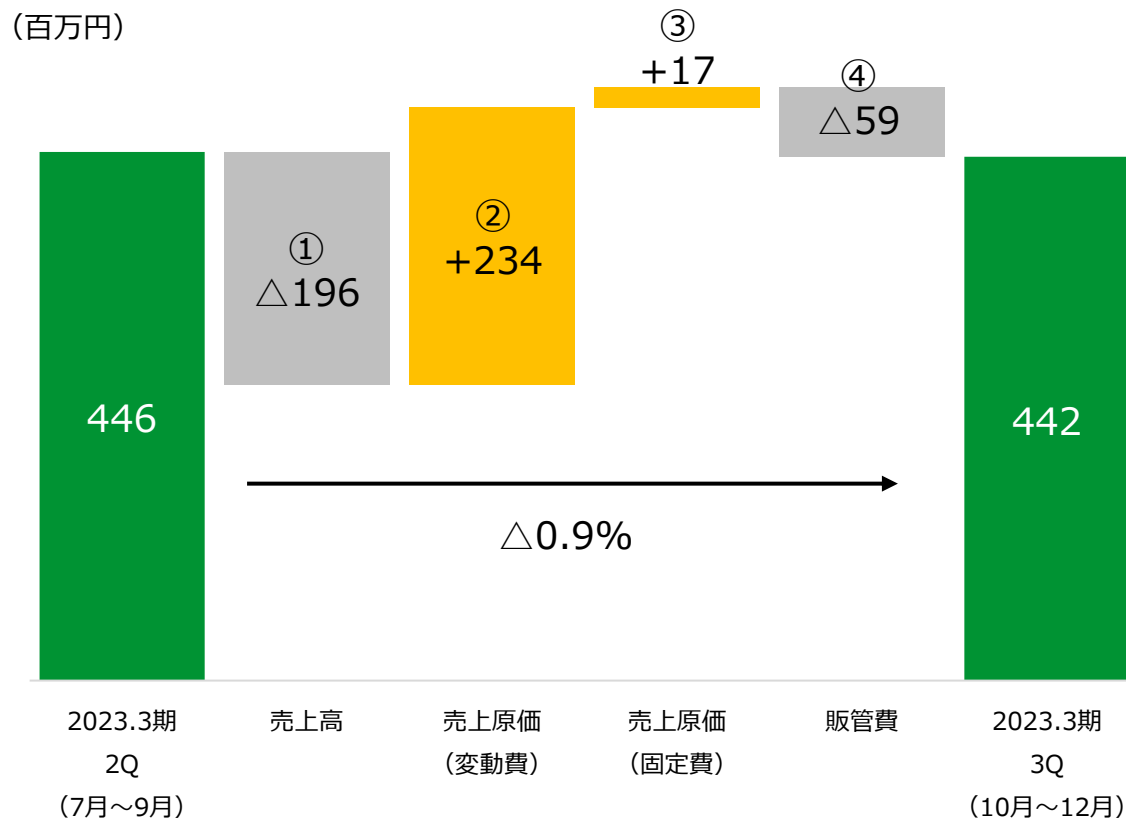
- ・ 顧客工場の稼働は不安定な状況が継続
- ・ 数量は若干の増加、売価への転嫁が徐々に進行



PCB事業

- ・ 概ね計画どおりに推移
- ・ 他の事業での取引展開に注力

- 化学品事業（変動費型）が減少、リサイクル事業（固定費型）が増加により変動費率は低下



①売上高

- 前ページのとおり
- (増収) リユース、リサイクル、自動車
- (減収) 化学品、PCB

②売上原価（変動費）

- 化学品事業で原材料の数量減、単価下落
- 外部処理先への処理費減少（2Qの課題解消）
- 一部の半導体減速に伴う外注委託費減少

③売上原価（固定費）

- 修繕費が多かった2Qと比較して減少（コスト減）
 - ユーティリティー費（電気・ガス）増加
 - SNRの混練設備が稼働、減価償却開始
- ※ SNR = サンワ南海リサイクル

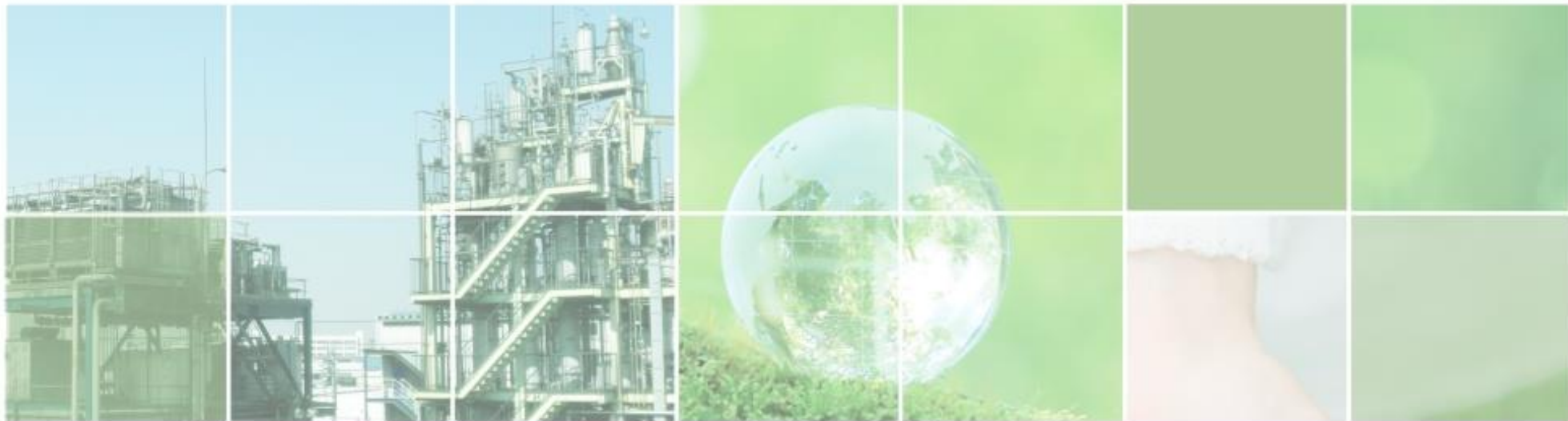
④販管費

- 製造部門から開発・営業部門への人員異動
- 各科目で少しずつ増加

貸借対照表（前年期末比）

(単位：百万円)	2022年3月期末	2023年3月期 3Q末	前期末比 増減額	コメント
流動資産	8,177	7,012	△1,164	茨城・SNR設備の支払で現預金が減少
固定資産	13,205	13,276	+71	－
資産合計	21,382	20,288	△1,093	－
流動負債	6,482	4,732	△1,749	短期借入金の返済、設備投資の未払・債務減少
固定負債	5,130	4,990	△140	長期借入金が減少
負債合計	11,613	9,723	△1,890	－
純資産合計	9,769	10,565	+796	配当金の支払、純利益獲得
負債・純資産合計	21,382	20,288	△1,093	－

※ SNR = サンワ南海リサイクル株式会社



2023年3月期 業績予想



- リユース・リサイクル・化学品を中心とした成長を目指し、9.4%増収、10.5%営業利益増益を予想
- **3Q累計は堅調に推移しており、進捗率は良好**

(単位：百万円)	2022年3月期		2023年3月期 予想		増減		2023年3月期 3Q累計	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	増減額	増減比	実績	進捗率
売上高	15,537	100.0%	17,000	100.0%	+1,462	+9.4%	13,352	78.5%
売上総利益	4,603	29.6%	4,800	28.2%	+196	+4.3%	3,736	77.8%
営業利益	1,629	10.5%	1,800	10.6%	+170	+10.5%	1,436	79.8%
経常利益	1,629	10.5%	1,800	10.6%	+170	+10.4%	1,471	81.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,259	8.1%	1,250	7.4%	△9	△0.7%	964	77.1%

※2022年3月期には、特別利益として受取保険金（229百万円）を含んでおります。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL 0566-35-3021（経営管理部）

URL <https://sanwayuka.co.jp/>

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。